

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内
 TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354
 西日本支部：〒663-8133 兵庫県西宮市上田東町4-97 甲南電機(株)本社内
 TEL. 0798-40-6600 FAX. 0798-40-6645

平成29年度(第10回)西日本支部総会開催

平成29年度(第10回)西日本支部総会が、10月26日(木)15:00~16:20頃までの間、兵庫県宝塚市の「宝塚ホテル西館」1Fの「すみれの間」で開催されました。当日は、宮内西日本支部長兼副会長及び支部会員の皆様方や本部から永久会長を初め、副会長、監事、理事の皆様方に加え近畿経済産業局坂本和英製造産業課長殿を初めとすご来賓及び関連団体関係者等総勢66名の皆様方が出席されました。

支部総会は宮内副会長兼西日本支部長の挨拶で始まり、以下の議事次第により議事が進行し16:20頃に無事終了しました。



挨拶をする宮内西日本支部長

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第10回西日本支部総会開催・・・・・・・・・・1	広報・PR事業・・・・・・・・・・8
委員会開催・活動状況	中小企業関連事業・・・・・・・・・・8
標準化事業／ISO対策事業・・・・・・・・・・5	PL対策事業・・・・・・・・・・9
標準化事業／規格事業・・・・・・・・・・6	今後の主要行事予定・・・・・・・・・・9
技術調査事業・・・・・・・・・・6	統計資料・・・・・・・・・・13

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL : <http://www.jfpa.biz/>

なお、今回も支部総会前に甲南電機（株）のアレンジで辰馬本家酒造（株）白鹿・酒蔵工場の見学会を行いました。

第10回西日本支部総会議事次第

1. 開 会
2. 支部長挨拶 宮内西日本支部長兼副会長
3. 御来賓紹介
4. 会長挨拶 永久会長
5. 来賓祝辞 近畿経済産業局
坂本製造産業課長
6. 本部報告 藤原専務理事
7. 支部報告 大朝甲南電機㈱企画部長
8. 閉 会

定刻より5分程早く支部事務局より支部総会の開催挨拶があり、宮内支部長より以下の挨拶がありました。

「ただいまご紹介いただきました西日本支部長を務めさせていただいております甲南電機会長の宮内です。支部会員の皆様方には、常日頃から当会の運営に格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。本日はご多忙の中、本総会にご参集いただき、ありがとうございます。また、本日は、ご多忙の中にも拘りませず、近畿経済産業局の坂本(さかもと)和英(かずひで)製造産業課長を始めとする関係機関の皆様方にもご臨席いただいております厚く御礼申し上げます。

昨年は「ワンカップ大関」で有名な、大関さまを見学いたしましたところ、非常に好評で、酒造メーカー見学が興味深いと感じたことと、今回は「白鹿」ブランドの、辰馬本家酒造さまに見学をお願いいたしました。

辰馬本家酒造さまの企業理念は「育てる」と聞いております通り、常に事業に携わる人材の育成に努めてこられております。この社風の下、教育にも力を入れられ、かの有名な進学校、甲陽学院中学、高等学校、その他幼稚園、保育園なども経営されております。

「酒は造るものではなく育てるもの」の信念で、これからの100年を見据えた経営に取り組まれています。甲陽学院建学の精神である「百年の計は人を育てるにあり」の言葉にこそ、辰馬本家酒造さまの長寿企業の真髓があります。

この辰馬本家酒造さまの精神は、皆様の企業経営にも、通じるものがあると思います。皆様、日本酒は大変美味しくなっております。是非今後は、ユネスコ無形文化遺産となっております和

食と共に、日本酒を楽しまれる機会を増やしていただきたいと思っております。

さて、景況等については、後ほど永久会長からお話があると思っておりますので、省略させていただきます、ここでは先月行ったIFPEX2017について簡単にお話しさせていただきますと思っております。初日の開会式には、私も西日本支部を代表しまして会長とともに同時開催展示会の代表者と並んでテープカットに参列させていただきました。今回は、景気に明るさがある中で、また、天候に恵まれたこともあってか、開会式、基調講演会等が満席となり、入場者は会期の3日間で4万3千人弱と、前回に比べて6千7百人以上の増加となりました。なかでも、大学で研究されているフルードパワーロボットを展示する企画には多くの人が興味を持って見ていただき、当会が進めている産学連携の成果の一つではないかと感じた次第です。このような企画や我々の不断の努力が入場者数に反映できたのではないのでしょうか。次回はオリンピックと重なるとのことと、どうするのかはまだ決まっていますが、さらなる発展を期待する次第です。我々西日本支部の活動の大きな柱に技能検定に係る事業があります。本部でも、今年度から技能検定のための学科・実技の研修制度を始めると聞いております。「今年度はまずは試験的にやってみよう」との趣旨とのことですので、今後関西でも行うかどうかの検討もされるのではないかと推察いたします。また、昨年のこの席で、工業会の会議の関西地域開催を少しでも多くの開催をお願いしましたが、その結果かどうかはわかりませんが、この11月に支部本部合同で高齢者雇用ガイドラインの説明会を関西地区で開催する予定です。是非ご参加いただければと思います。

最後になりましたが、本日の本支部総会にご参集・ご臨席をいただきました学会の先生方はじめ、関係機関の皆様方の益々ご健勝とご活躍、そして会員各社のご発展をお祈りし簡単ではありますが、私の挨拶とさせていただきます。」

その後、事務局から来賓の紹介があり、永久会長より以下の挨拶がありました。

「ただいまご紹介いただきました、工業会会長を務めさせていただいております油研工業社長の永久でございます。本日は、関西支部総会にお招きいただき誠に有難うございます。また、ご多忙の中にも拘りませず、近畿経済産業局の坂本和英製造産業課長を始めとする関係機関の皆様方にもご臨席賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今年度も既に下期に入りましたが、フルー

ドパワー業界を取り巻く景況はまだ模様ではありますが、概ね良好の内に推移してきたと考えております。ご承知の通り8月の機械受注は、2ヵ月連続で前月比増加となり、受注額としても、昨年7月以来の高水準を保っております。さらに日銀短観による業況判断は、9月の大企業製造業はプラス22ポイントと四半期連続で改善し、ちょうど10年前の2007年9月調査以来の高水準となっております。また、ここにきて株価は世界的に堅調に推移しており、東証株価も2万1千円台に達する等明るさが増しております。昨今の新聞報道等よれば9月の中間決算では製造業を中心に増益基調が報道されております。こうした中で当会は今回、この4月に発表した需要予測の見直しを行いました。この後の理事会にお諮りする予定でございますが、主な論点は、アベノミクスが牽引する国内景気動向、昨年来好調な中国の建設機械需要、急速に進展する工場自動化の動きなどでした。一方、核やミサイル問題を抱える朝鮮半島の地域リスクなどもあります。油圧機器では中国の建設機械需要がまだしばらく底堅い動きをするかと判断し、前年比、前年度比とも約15%プラス、空気圧機器も外需を中心に工場自動化投資が更に強く伸びるとの判断の下、前年比、前年度比とも25%プラスと見込み、全体で今年度は8,500億円近くには達するのではないかと上方に修正いたしました。

話しは変わりますが、先日、突然の衆議院解散に伴う選挙の結果が出ました。引きつづき与党多数の政権となり、政策の安定的な運営が期待されます。自民党の公約の中に、「アベノミクスは2つの大改革で挑む。最先端のイノベーションで生産性を劇的に押し上げる「生産性革命」。人生100年時代を見据え、あらゆる人にチャンスをつくる「人づくり革命」を行う」というのがありました。大胆な税制、予算、規制改革などあらゆる施策を総動員して、企業収益を設備投資や人材投資へ振り向けると言っております。大いに期待したいところでございます。しかしながら足下を見ますと、少子高齢化に伴う若手人材の不足は業務を進める上での制約になって来ております。工業会では、この度高齢者活用指針を取りまとめました。シニアの方々、女性の方々にもより活躍していただける業界にしていくことが、我々の更なる発展に資すると思っております。

2年後には東京オリンピック、パラリンピックの開催となります。10年後の開業を目指すりニア新幹線工事等大きなプロジェクト工事が進められております。我々フルードパワー業界もしっかりとこれを下支えしていきたいと思っております。

最後になりましたが、西日本支部のさらなる発展、そして本日ご参集の皆様方のご健康並びに傘下企業のさらなるご発展を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。」



挨拶をする永久会長

次に来賓を代表して近畿経済産業局坂本和英製造産業課長よりご挨拶をいただきました。

つづいて、本部報告・支部報告を行った後に支部会計報告及び決算報告（案）について審議を求め了承、定刻10分前に無事終了いたしました。

第81回理事会

支部総会終了後16:35頃から同じ会場で第81回理事会を開催しました。理事会には、西日本支部総会に出席された支部会員の皆様もオブザーバーとして参加されました。初めに事務局から本理事会への理事の出席状況について報告が行われ本理事会が有効に成立している旨説明しました。永久会長の議事進行により審議に入りました。議長は来賓として出席していた経済産業省製造産業局産業機械課の工藤勉課長補佐に挨拶を要請し、同氏から挨拶を兼ねて「平成30年度の経済産業省関係概算要求のポイント」について説明があった後に、最近の日産自動車（株）の不正検査問題及び（株）神戸製鋼所のデータ改ざん問題等に触れ、当会会員に対してもコンプライアンス順守の要請がありました。



ご挨拶をされる工藤課長補佐

次に議長は、議事録署名人として代表理事及び監事1名を指名し、議事次第に基づき議事の審議に入り、提案議案は全て承認されました。

第1号議案

平成29年度収支予算書見直しの件

(一社)日本半導体製造装置協会からの「平成29年度中小企業海外市場開拓事業費補助金」の「見本市等出展支援事業」に関する委託費を受けたことに伴う変更、及び(一財)日本規格協会からの「JIS原案作成事業(4月)」に関する受託費訂正に伴う件について説明した。議長は、本件を議場に諮り、審議の結果異議なく承認されました。

第2号議案

平成30年度公益財団法人JKAへの補助金申請の件

平成30年度の規格事業の一部に対する補助金申請を行う必要がある旨説明した。議長は、本件を議場に諮り、審議の結果異議なく承認されました。

第3号議案

IFPEX2017開催・報告の件

資料により「IFPEX2017の結果」について報告をした。

第4号議案

平成29年・年度の需要見通しの見直しの件

資料により見直し結果について説明した。

第5号議案

油圧装置調整技能士受験対策講座の開催の件

資料により説明した。

その他議案

資料により今後の予定スケジュール等について説明した。以上で審議を終え17:10に無事終了した。

その後、17:15頃より「すみれの間」で、支部会員及び関係機関の方々と出席理事を交えた合同懇親会を開催しました。はじめに宮内関西支部長が開会の挨拶と乾杯を行い、参加者一同懇親を深めました。その後、和気あいあいのうちに散会しました。



合同懇親会会場

なお、恒例の西日本支部主催による工場見学及び翌日の懇親会は、支部長会社である甲南電機(株)さんのアレンジで、「宝塚ゴルフ倶楽部」で「第11回西日本支部懇親ゴルフ会」を開催しました。当日は、大型台風の狭間ではありましたが、快晴のゴルフ日和となりました。参加者一同日頃の精進の成果を期待しプレーを行いましたが、不本意な結果の方もおられたようでした。成績は以下の通りです。

優勝 竹崎 一生 (アクト電機工業(株) 取締役社長)

2位 逢坂 光豊 (逢坂工業(株)代表取締役会長)

3位 近藤 綱亮 (三明電機(株)代表取締役社長)

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~

#### 標準化事業/ISO対策事業

~~~~~

*ISOの動き

ISO/TC131 ヴィンタートゥール国際会議

10月9日から13日までスイス・ヴィンタートゥールにおいて開催された。

会議は、SC3/WG1、SC3/WG4、SC4、SC4/WG1、SC4/WG2、SC4/WG4、SC4/WG6、SC5/WG5、SC6、SC6/WG1、SC6/WG2、SC6/WG3、TC131/WG1の各分科会が開催された。

日本からは、吉田委員(CKD)、板井委員(横浜ゴム)、岩崎委員(イハラサイエンス)、緒方委員(日東工器)、横岡委員(ブリヂストン)、難波委員(日本ポール)、風間委員(日本アキュムレータ)、杉村委員(日本アキュムレータ)の8名が参加した。

なお、会議の詳細については、後日、報告書を作成します。



会議場となったスイス規格協会(SNV)



会議の様子

発行された ISO 規格

(TC118)

ISO 5390:1977/Amd 1:2017 Compressors -- Classification -- Amendment 1

(TC131)

ISO 6301-1:2017 Pneumatic fluid power -- Compressed-air lubricators -- Part 1: Main characteristics to be included in supplier's literature and product-marking requirements

ISO 12669:2017 Hydraulic fluid power -- Method for determining the required cleanliness level (RCL) of a system

ISO 18237:2017 Hydraulic fluid power -- Method for evaluating water separation performance of dehydrators

ISO/TS 11686:2017 Connectors for fluid power and general use -- Assembly instructions for connectors with adjustable stud ends and O-ring sealing

投票に付されている ISO 規格案 (FDIS, DIS)

(TC131)

ISO/DIS 18582-2 Fluid power -- Specifications of reference dictionary -- Part 2: Classes' and properties' definitions for pneumatics

廃止された ISO 規格

(TC131)

ISO 6301-1:2017 Pneumatic fluid power -- Compressed-air lubricators -- Part 1: Main characteristics to be included in supplier's literature and product-marking requirements

~~~~~  
標準化事業／規格事業  
~~~~~

JIS 原案作成本委員会

日時 10月3日(火) 13:30 ~ 16:00

場所 機械振興会館 6-62 会議室

出席者 香川委員長以下 9 名

事務局 前畑

議事

香川委員長(東工大特命教授)開会挨拶、委員自己紹介の後、今回審議の JIS に関連するとして、東京メータ・小林課長による「等温化圧力容器を用いた代替測定法の実際」のデモが行われた。

次いで、本題の「JIS B 8390-2 空気圧-圧縮性流体用機器の流量特性試験方法-第 2 部: 代替試験方法」の JIS 原案の審議を行った。審議の結果、技術的内容にかかわる修正事項は特にないため、各委員からの指摘事項について修正し、日本規格協会へ提出することとした。

油圧バルブ分科会

日時 10月5日(木) 13:30 ~ 16:30

場所 機械振興会館 6-62 会議室

出席者 浦井主査以下 13 名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、浦井主査より、5 月に開催された ISO サンアントニオ会議及び 6 月に開催された技術標準化合同委員会の報告がなされた。

次いで、ISO 投票に関して、分科会が開催されなかった期間中に投票終了した案件も含め内容を確認し情報共有化を行った。

次いで、JIS B 8668 改正について審議した。前回、分科会で決めた各委員の担当部分の検討内容について審議した。

次回開催: 2018 年 2 月 15 日(木) 機械振興会館

空気圧バルブ分科会

日時 10月19日(木) 13:30 ~ 16:30

場所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 石毛主査以下 8 名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、JIS 公募区分 A (H29/4 開始分) に申請した案件の JIS B 8376 「空気圧用速度制御弁」の見直しについて、日本規格協会へ提出するための最終審議を行った。今回の指摘事項を修正の上、規格調整版として日本規格協会へ提出し、その後、JIS 原案作成委員会を来年 1 月に開催する方向で進めることとした。

次いで、投票に掛かっている ISO 規格について審議した。その結果、ISO/TC131/SC5/N0777 (Convenor ISO/TC131/SC5/WG3) は賛成にて投票、ISO/DIS 18582-2 は他の分科会も関連するため事務局へ一任することとした。

次回開催：12月14日(木) 機械振興会館

空気圧システム分科会

日時 10月20日(金) 13:15 ~ 16:15

場所 機械振興会館 6-60 会議室

出席者 増尾主査以下 6名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について審議した。その結果、ISO/TC131/SC1/N021 (コンビーナ交代) については賛成、ISO/DIS 18582-2 については事務局一任することとした。また、ISO/SR 1219-2 については、本 ISO 規格を参照している JIS を改正中のため、改正を担当した油圧システム分科会に一任することとした。

次いで、リスクアセスメントガイドブックについて、ISO 12100 の機械工業連合会資料に基づき作成した解説案について審議した。次回までに各担当で検討し、最終案をまとめることとした。

次回開催：12月15日(金) 機械振興会館

油圧システム分科会

日時 10月27日(金) 13:30 ~ 16:30

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 町田主査以下 6名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、投票に掛かっている ISO 投票案件について審議した。TC131/SC1/WG1/N021 (コンビーナ交代) については賛成、また、ISO/SR 1219-2 は、本 ISO 規格をベースに JIS 化した際に問題となった事項をコメントとして投票することとした。

次いで、日本規格協会より調査依頼が来ている JIS B 8361:2013 について審議し、確認とすることとした。次いで、JIS B 0125-1 の改正について検討した。本 JIS は空気圧図記号も含まれるため、空気圧システム分科会にも見直しを依頼し、必要に応じて合同分科会の開催も検討することとした。

次回開催：2018年1月19日(金) 機械振興会館

油圧ポンプ・モータ分科会

日時 10月30日(月) 13:30 ~ 16:30

場所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 馬場主査以下 10名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO 投票について審議した。ISO/DIS 4409 は HM オイルの粘度指数及び密度の数値変更提案を掲載すべくコメント付き賛成で投票することとした。

次いで、JIS 見直しについて審議した。JIS B 8397-1 及び JIS B 8397-2 に関して、対応する国際規格が変更になっていないため確認とすることとした。

次いで、今後のテーマについて討議した。ポケットブックの改訂、回転数制御方式ポンプに関する規格、機械安全・リスクアセスメントの制定、シミュレーションモデルの標準化等の意見が出され、今後検討していくこととした。

次回開催：2018年2月 機械振興会館

発行された JIS

JIS B 8349-1 油圧システム及び機器から発生する圧力脈動レベルの測定方法-第1部：ポンプの流量脈動及び内部インピーダンスの測定方法

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

技術委員会油圧部会若手技術者懇談会

日時 10月5日(木) 13:30 ~ 19:00

場所 機械振興会館 6-64 会議室

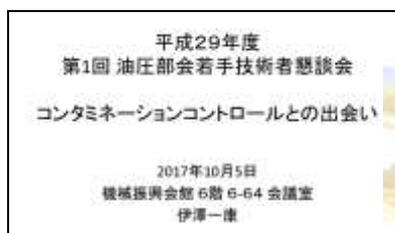
出席者 伊藤和巳部会長以下 13名

講師 伊澤一康 (ルーブリサーチ代表)

事務局 藤原専務、千葉、大橋

議事

伊藤部会長の開会挨拶の後、直ちに第1部の講演に入った。ルーブリサーチ代表の伊澤一康氏による講演は下図に示す通りであり、油圧システムの維持・管理にとって重要なコンタミネーションコントロールに関する話題であった。



講演演題と講師略歴、講演



はじめにオクラホマ州立大学への留学時代のアメリカでの語学勉強や当時の生活の様子などが紹介され、当分野に携わるきっかけとしてのサーボ弁のコンタミに関する研究の説明があった。特に、帰国後も日本ポール社に入社し一貫して作動油の汚染管理に関する数々の業績や ISOWG 主査としての実績を残して来られた氏の講演は若手にとって大変刺激になったと思われる。

第2部は、まず伊藤部会長の自己紹介、業務体験、いま思うことなどの講和があり、続いて参加の若手13名による作文発表に移った。自己及び会社の紹介、業務内容や開発製品の紹介、さらには油圧技術者としての抱負を語ってもらった。1人当たり約10分の短時間とはいえ、活発に質問や意見交換も行われた。本年は昨年から一新し初めての参加者ばかりであったが、プレゼンは年々うまくなっているとの印象を受けた。

第3部の懇親会は、名刺交換や仕事の話をはじめ日常生活の話題まで、若手同士がグループを変えつつ熱心に会話をする積極的な姿が見られた。伊澤講師から、「若いころから目標を持って進むように！」との激励の言葉をいただき、一本締めにより閉会とした。

第2回は、例年通り工場見学会を行い、1月末から2月にかけて予定する。



懇親会後の集合写真

技術委員会空気圧部会第540回特許分科会

日時 10月13日(金) 13:00～17:00

場所 京都府長岡京市中央生涯学習センター
会議室 3

出席者 赤松幹事以下5名

事務局 吉田

議事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について、2件については引き続きウォッチングしていくこととした。1件については見解書の作成を依頼することとした。1件については無効理由調査を開始することとした。

2件については引き続き調査を継続することとした。

平成29年度9月末現在収支報告書と特許事務所支払明細の報告について承認を得た。

次回開催：11月10日(金) 機振会館6-61 会議室

~~~~~

広報・PR 関連事業

~~~~~

第93回編集委員会

日時 10月6日(金) 15:00～17:00

場所 伊豆高原ユートピア 会議室

出席者 坂井委員長以下11名

事務局 藤原専務、大橋

議事

坂井委員長の開会の挨拶後、宮主査の司会により議事に入った。

1. VOL. 31, NO. 3 (夏号)～NO. 4 (秋号) 報告

夏号は、IFPEX2017 概要を示す特集号として8月に1000部印刷し発刊したことを報告。

秋号は、原稿管理表を基にIFPEX2017の参観記を主体とした特集号としてほぼ順調に編集作業を進めていることを報告した。

2. VOL. 32 年間企画と記事提案状況

2018年の年間企画表にて、記事の企画・寄稿依頼状況を説明した。春号までは比較的予定が多いが、秋号から各記事分類共に集まっていない。特に、新年号からの「技術講座」「Tea Time」はテーマ・執筆者が現時点でも未定であるため、WG以降の候補を再確認して依頼の手順と担当を決めた。他の連載記事では「ミニ知識」も春号から未定であり、併せて検討を進めることにした。「ずいひつ」は元ヤマハ発動機のオートバイ設計部長に依頼済みであり、初回の原稿案を紹介した。

引き続き編集委員から記事提案表により新規提案分の説明を受け、以後、事務局にて秋号以降への寄稿依頼を検討していくこととした。

3. 機関誌のあり方・配布先拡大について

WG主査から、「次世代フルードパワー！活躍する若手」を目次分類とする企画案と初回記事例を説明し、新企画として進めることが承認された。

このほか、余白埋め草シリーズとして企画したミニストーリーは、フルードパワー応用装置3事例が集まったことを紹介し、信憑性や引用の課題などもあるため検討を継続することを報告した。

配布先・配布数の拡大については、事務局から、当面、JFPAの委員会活動にご協力いただいている大

学の先生方に大学図書館への寄贈の可能性を探っていただくことから始めると報告した。

次回開催：

- ・第119回WG 12月7日14時、機振会館6-60
- ・第94回委員会 2018年月4月として調整

~~~~~  
中小企業関連事業  
~~~~~

第3回中小企業委員会

日時 10月11日(水) 15:00～17:00

場所 機械振興会館5S-1会議室

出席者 松井副委員長以下18名

事務局 藤原、堀江、

議事

① 開会挨拶 松井副委員長

② 経産省からの施策近況と業界現況報告

経産省・工藤課長補佐より平成30年度概算要求のポイント及び各種施策の概要について説明があり、事務局からは油圧装置調整技能士受験対策講座について報告した。その後、出席各社からの現況報告が行われた。

③ 会長講演会

恒例の会長講演会を開催し、永久会長より「日本企業のアジア展開の現状と課題」というテーマで日本企業の海外進出の歴史、アジア進出の現状と今後の方向と油研工業(株)の今後の戦略について内容の濃いお話をいただきました。



会長講演会

次回開催：2月14日(水)

平成29年度中小企業WG研修事業

日時 10月20日(金)～21日(土)

場所 (株)不二越・富山事業所

参加者 松井・木下幹事 以下8名

事務局 堀江

報告

平成29年度中小企業委員会WGの研修視察先として、以前よりWGメンバーからの要望が強かった富山県富山市に事業所を置く(株)不二越を訪問した。



油圧企画部・谷口部長、柚木室長の概要説明

同社は当会の正会員会社であり、建機、産機用の油圧機器の他、切削工具、工作機械、ベアリング、ロボットなど多くの事業を展開している。今回は、富山事業所のものづくりセンターを見学して、不二越の歴史と各事業製品について説明を伺った。

中でもロボット事業は各種用途に応じたロボットがセンター内に多数展示されており、最近注目を集めているIoT、AIとの融合にも注力していた。

終了後、参加メンバーで懇親会を開催し、今回の視察についての意見交換と次回の研修視察について話し合った。

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

☆12月15日(金)第26回政策委員会
(場所) 当会会議室

*平成30年

☆1月11日(木)年始会・第82回理事会

(時間) 15:30～16:30

(場所) 東京プリンスホテル(芝公園)

☆4月20日(金)第83回理事会

(時間) 15:30～16:30

(場所) ザ・プリンスさくらタワー高輪

2F「コンファレンスN1-N5」

理事会懇親会

同上 17:00～18:30

2F「コンファレンスN5-N8」

☆5月17日(木)平成30年度(第19回)定時総

会

(時 間) 15:30~16:50

(場 所) 東京プリンスホテル芝公園
2F「サンフラワーホール」

総会後の懇親会

(時 間) 17:00~18:30

(場 所) 東京プリンスホテル芝公園
2F「マグノリアホール」

☆5月18日(金)第57回JFPA懇親ゴルフ会

(場 所) 程ヶ谷カントリー倶楽部

~~~~~  
10月に開催された当会各委員会に出席された皆様  
は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

(標準化事業/ISO事業)

ISO/TC131 ヴィンタートゥール国際会議

開催日 10月9日(月)~10月13日(金)

委 員 吉田泰裕 (CKD)

〃 板井淳一 (横浜ゴム)

〃 岩崎宏文 (イハラサイエンス)

〃 緒方征嗣 (日東工器)

〃 横岡慎吾 (ブリヂストン)

〃 難波竹己 (日本ポール)

〃 風間英朗 (日本アキュムレータ)

〃 杉村登夢 (日本アキュムレータ)

(標準化事業/規格事業)

JIS 原案作成委員会

開催日 10月3日(火)

出席者

委員長 香川利春 (東京工業大学)

委 員 北川能 (東京工業大学)

〃 古田豊 (日本規格協会)

〃 大槻文芳 (日本工作機械工業会)

〃 菊地治彦 (東芝機械)

〃 妹尾満 (SMC)

〃 若原洋行 (TAIYO)

〃 進藤克己 (クロダニューマティクス)

〃 斉藤悠 (コガネイ)

〃 千葉誠 (JFPA)

油圧バルブ分科会

開催日 10月5日(木)

出席者

主 査 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)

委 員 原健二郎 (川崎重工業)

〃 中村雅之 (KYB)

〃 瀬川均 (ダイキン工業)

〃 安永和敏 (東京計器)

〃 小林正幸 (ナブテスコ)

〃 吉本光宏 (日立建機)

〃 高野一治 (油研工業)

〃 砂金賢憲 (タカコ)

〃 藤坂昌廣 (豊興工業)

〃 八上光春 (廣瀬バルブ工業)

〃 山口正志 (不二越)

アドバイザー 千葉誠 (JFPA)

空気圧バルブ分科会

開催日 10月19日(木)

出席者

主 査 石毛浩二 (クロダニューマティクス)

委 員 夏目清辰 (CKD)

〃 大島雅之 (SMC)

〃 河野喜之 (甲南電機)

〃 渡邊陽 (コガネイ)

〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)

特別委員 古田豊 (日本規格協会)

アドバイザー 千葉誠 (JFPA)

空気圧システム分科会

開催日 10月20日(金)

出席者

主 査 増尾秀三 (CKD)

委 員 張護平 (SMC)

〃 佐々木政彰 (アズビル TACO)

〃 門間崇宏 (コガネイ)

〃 神戸孝典 (甲南電機)

アドバイザー 千葉誠 (JFPA)

油圧システム分科会

開催日 10月27日(金)

出席者

主 査 町田哲治 (東京計器)

委 員 伊藤隆 (KYB)

〃 山本裕 (ボッシュ・レックスロス)

〃 中川幸隆 (川崎重工業)

〃 渋谷文昭 (東京計器)

アドバイザー 千葉誠 (JFPA)

油圧ポンプ・モータ分科会

開催日 10月30日(月)

出席者
主 査 馬場賢司 (ボッシュ・レックスロス)
委 員 加藤弘毅 (KYB)
〃 中辻順 (ダイキン工業)
〃 辻井喜勝 (タカコ)
〃 宮田孝弘 (小松製作所)
〃 堺隆二 (川崎重工業)
〃 金谷顕一 (島津製作所)
〃 吉成考正 (東京計器)
〃 寺澤達士 (油研工業)
アドバイザー 千葉誠 (JFPA)

(技術調査事業)

技術委員会油圧部会若手技術者懇談会 (第1回)
開催日 10月5日 (木)
出席者
部会長 伊藤和巳 (KYB)
講 師 伊澤一康
(元日本ポール、ルーブリサーチ代表)
参加者 本多廣大 (川崎重工業)
〃 石橋恒輝 (KYB)
〃 高田泰宏 (住友精密工業)
〃 福井捷太 (タカコ)
〃 金 星 (ダイキン工業)
〃 川俣 智 (東京計器)
〃 小林 萌 (東京計器)
〃 稲吉克俊 (豊興工業)
〃 田和尚泰 (日立建機)
〃 佃 拓実 (廣瀬バルブ工業)
〃 山本 怜 (不二越)
〃 吉田大輝 (油研工業)

技術委員会空気圧部会

第540回特許分科会
開催日 10月13日 (金)
出席者
幹 事 赤松直人 (甲南電機)
委 員 井野雅康 (SMC)
〃 出澤 大 (クロダニューマティクス)
〃 今野英俊 (コガネイ)
〃 細田一也 (CKD)

(広報・PR 関連事業)

第93回編集委員会
開催日 10月6日 (金)
出席者
委員長 坂井 静 (KYB)

WG主査 宮 能治 (KYB)
顧 問 北川 能 (元東工大)
顧 問 田中 豊 (法政大学)
委 員 松島嘉則 (阪上製作所)
〃 神戸孝典 (甲南電機)
〃 豊田敏久 (川崎重工業)
〃 永井茂和 (SMC)
〃 東川智信 (TAIYO)
〃 宮坂 篤 (油研工業)
〃 諸橋 博 (東京計器)

(中小企業関連事業)

平成29年度第3回中小企業委員会
開催日 10月11日 (水)
出席者
副委員長 松井正彦 (マツイ)
委 員 松田庄三郎 (光陽精機)
〃 澤田啓支朗 (タイヨーインターナショナル)
〃 向 恭男 (大生工業)
〃 真嶋利博 (タカコ)
〃 松岡 勉 (タカコ)
〃 吉富英明 代理 (南武)
〃 紅林幸久 (日本オイルポンプ)
〃 永島実也 (日本オイルポンプ)
〃 小野慎一 (廣瀬バルブ工業)
〃 杉崎秀之 (廣瀬バルブ工業)
〃 高橋征爾 (富士エンジニアリング)
〃 三尾行康 (三尾製作所)
〃 相原哲治 代理 (大阪ジャッキ製作所)
〃 阿部利恵 (経済産業省)
アドバイザー 服部嘉博 (経済産業省)

平成29年度中小企業WG研修事業

日時 10月20日 (金) ~21日 (土)
参加者
幹 事 松井源太郎 (マツイ)
幹 事 木下純夫 (三尾製作所)
委 員 星 蔵貴 (神威産業)
〃 桐生邦彦 (オックスジャッキ)
〃 森田勇一 (大生工業)
〃 杉崎秀之 (廣瀬バルブ工業)
〃 福田賢二 (堀内機械)
〃 保坂淳一 (理研精機)

~~~~~  
月間行事概要  
~~~~~

<10月>

- 3日(火)
 - ・標準化(委) JIS 原案作成委員会
- 5日(木)
 - ・標準化(委) 油圧バルブ分科会
 - ・技術(委) 若手技術者懇談会
- 6日(金)～7日(土)
 - ・編集(委) 第93回委員会
- 9日(月)～13日
 - ・ISO(委) ヴィンタートゥール国際会議
- 11日(水)
 - ・中小企業委員会
 - ・フルードパワー高齢者雇用促進事業説明会
- 13日(金)
 - ・技術(委) 空気圧部会第540回特許分科会
- 18日(水)
 - ・技術(委) ADS規格小委員会
- 19日(木)
 - ・標準化(委) 空気圧バルブ分科会
- 20日(金)
 - ・標準化(委) 空気圧システム分科会
- 20日(金)～21日(土)
 - ・中小企業(委) 中小企業委員会WG
- 24日(火)～28日(土)
 - ・(一社) JFPS 国際シンポジウム
- 26日(木)
 - ・西日本支部主催工場見学会
辰馬本家酒蔵(株) 白鹿・酒蔵工場
 - ・第10回西日本支部総会及び第81回理事会
- 27日(金)
 - ・西日本支部主催懇親ゴルフ会
 - ・標準化(委) 油圧システム分科会
- 30日(月)
 - ・標準化(委) ポンプモータ分科会

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。